

キアオラ – ニュージーランドへようこそ



ニュージーランドで車を運転する際は、交通ルールにご留意ください。例えば、ニュージーランドでは

- 車は左側通行です。
- 運転中に携帯電話を手を持って使用するのは違法となります。

ご出発前にこのパンフレットをお読みにになり、安全運転でドライブをお楽しみください。

左側通行



運転の際は、常に道路の左側を通行してください。右側通行に慣れている方は、道路に出たら必ず左側へ進入するよう、特にご注意ください。

交差点での優先規則

原則として、直進するすべての車が右折・左折車に優先します。

道路を曲がるときは、必ずウインカーを出してください。

赤信号での左折禁止

交差点で信号が赤のときに左折するのは禁止されています。

信号で曲がる際は、道路を横断する歩行者を優先します。

携帯電話の使用



運転中の携帯電話の使用は、全くのハンズフリー、または車内にしっかり取り付けられ操作が最小限ですむもの以外は禁止されています。携帯電話によるメールの受信も違法です。

所要時間

ニュージーランドでは目的地までの所要時間が予想以上に長くかかりがちです。

地図上の距離は短く見えても、道幅が狭かったり起伏が多かったりし、また、高速道路から未舗装の砂利道まで変化に富んでいるためです。

疲労時に運転すると事故を起こしやすくなりますので、以下の点に注意して安全運転を心がけましょう。

- 長距離運転の前には十分な休息をとりましょう。
- 運転中は2時間ごとに休憩しましょう。
- なるべく他の人と交替しながら運転しましょう。
- 満腹を避け、十分な水分を摂取しましょう。
- 眠気を感じたら、安全な場所に車を停めて、40分程度までの軽い仮眠を取るようにしましょう。
- 非常に疲れてきたら、宿泊場所を探しましょう。

運転速度

制限速度標識は、最高走行速度を標示したものです。ただし、道路・交通状況や天候条件によっては減速走行しなければならない場合もあります。

制限速度は各地点で異なるため、速度標識に注意して運転してください。



主要地方道路の制限速度は、特に標識がない限りほとんどが時速100キロとなります。また、高速道路での制限速度も通常時速100キロです。



この標識は、地方道路規定の時速100キロが制限速度として適用されても、制限速度での走行が実際には危険であることを標示しています。この標識の区間では、速度を抑えてください。



都市部の制限速度は、特に標識がない限り一般的に時速50キロです。

シートベルト



運転席・助手席同様、後部座席でもシートベルトの着用またはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

7歳未満のお子様には認可済チャイルドシートの使用が義務付けられています。また、満7歳のお子様にも、認可済チャイルドシートがある場合はそれを使用しなければなりません。

アルコールと薬物

飲酒運転または薬物を使用しながらの運転はやめましょう。ニュージーランドでは運転中の飲酒・薬物使用が厳しく規制されており、違反者には厳罰が適用されます。

運転免許

運転する際は、現在有効な運転免許証や運転許可証を常時携帯している必要があります。お持ちの運転免許証・許可証が英語で書かれていない場合は、以下の業者・機関が発行する正確な英語の翻訳文書も必ず一緒に携帯してください。

- ・ ニュージーランド交通局公認の翻訳業者(www.nzta.govt.nz/licence/residents-visitors/translators.htmlの業者一覧表をご覧ください)
- ・ 高等弁務官事務所、大使館または領事館
- ・ お持ちの運転免許証を発行した海外の機関。

国連の道路交通に関する条約に基づき発行された国際免許証は、翻訳文書として通用します。

海外で発行されたお持ちの運転免許証や運転許可証が現在有効である限り、ニュージーランド到着日より最大12ヶ月間運転することができます。また、ニュージーランドを訪問するたびに、運転可能最大期間が再び12ヶ月間与えられます。

しかし、12ヶ月間が経過した後も続けてニュージーランドで運転したい場合は、ニュージーランドの運転免許証を取得しなければなりません。

ひとたびニュージーランドの運転免許証が交付されると、海外で発行された免許証はもはや使用できません。これはニュージーランド滞在期間が12ヶ月未満の場合も同様です。

追い越し



国内のほとんどの道路は片側一車線ですが、一定の間隔に追い越し車線が設けられている区間があります。追い越しはこの区間で行ってください。センターラインの内側に黄色い実線がある区間は、追い越し禁止の危険区間です。

サイクリストとの共存

ニュージーランドでは、サイクリストにドライバーと同等の権利があります。サイクリストのそばでは減速し、安全が確認できるときのみ、ゆっくりと追い越しましょう。自転車と車との距離は1.5mを心がけてください。ウインカーは早めに出し、自転車専用レーンにはみ出して走行しないようにしましょう。

一車線の橋

ニュージーランドには各地に一車線片側交互通行の橋があり、一方向に進行する車両の通行が優先されています。

以下の標識はいずれも、前方に一車線橋があることを示しています。徐行して対向車の有無を確認しましょう。小さい赤矢印の方向へ進行する車両が、対向車に道を譲ることになります。



これらの標識は、橋の反対側から進入してくる対向車に優先権があることを示しています。



この標識は、橋の向こう側に対向車がないのを確認の上、注意しながら橋を渡るよう指示しています。

冬期の運転



路面が凍結したり、濡れていたりする場合、スリップしやすい地点を示す標識に注意して走行してください。減速し、急ブレーキはかけないようにしましょう。

特に峠道などでは、降雪や路面凍結により危険が増します。こうした条件下で運転する可能性がある場合、レンタカー会社ではスノーチェーンを用意してくれることがあります。その際は事前に装着方法を必ず確認してください。

道路上の動物



特に農村部では道路上の家畜に注意してください。路上に動物が見えたら徐行しましょう。動物が驚くのでクラクションは鳴らさないでください。場合によっては、停止して動物が通過するのを待つか、背後からゆっくり近づいて動物を誘導している人の指示に従いましょう。

未舗装(砂利)道路



未舗装道路はなるべく避けましょう。未舗装道路には非常に道幅の狭いものもあります。速度を抑え、対向車がある場合は、埃で視界が悪くなったり小石でフロントガラスにひびが入ったりする可能性があるため、さらに減速しましょう。

縦列駐車

ニュージーランドでは、進行方向と逆向きの縦列駐車は罰金やレッカー移動の対象となります。一方通行道路でない限り、走行車線の左側に、進行方向に向けて駐車しましょう。

踏切の通過

ニュージーランドには約1500か所の踏切がありますが、そのうちの半数にしか自動警報機が付いていません。踏切で警報機の赤信号が点滅している時は必ず停止し、点滅が終わるまで線路を渡らないでください。

警報機の無い踏切には、「Railway Crossing (踏切)」「Give Way (徐行)」「Stop (とまれ)」のいずれかの標識があるのみです。「Stop (とまれ)」の標識がある場合は、一時停止し、列車が来ないのを確認した上で渡りましょう。また、「Give Way (徐行)」の標識がある場合は、踏切に入る前にいつでも停止できるよう減速し、列車が来ないのを確認した上で渡りましょう。

